

## 【組合事務所落成式あいさつ】

この度、皆様方のご協力を賜りまして、当組合の新事務所落成式を迎えることが出来ました。誠にありがとうございます。

当組合は、昭和38年（1963年）8月1日、鹿児島製材団地協同組合として設立認可を受け発足いたしました。

以来、本年で63年を迎えています。

当初は、東開町の埋立地に新設された工場団地を構成する製材業者の組合員によって結成されました。以来、長年に渡って組合員の必要な各種共同事業を実施して参りました。

昭和41年には組合事務所を建築、昭和44年には各工場への電力供給としての共同受電施設が完成し、通常料金より安価な電力を各工場へ送電することを主な事業の一つとして取り組んできたところです。

しかしながら、創立以来63年を経過しこの間、組合員を取り巻く環境も大きく変化し、団地の主要な木材・製材業者の廃業や撤退、また、土地の用途の見直しによる変更等により、異業種の方々の参入も顕著となってきました。

私は、平成１８年（２００６年）５月の総会において代表理事に就任いたしました。そのような環境の変化に対応するために組合員の皆様と共に取り組んでまいりました。

懸案でありました水面貯木場の埋め立てにつきましては、平成２３年（２０１１年）９月に完成いたしまして、現在の組合の大きな財源の一つとなっています。

また、平成２８年（２０１６年）からは、各企業への電力の安定供給を図るため、組合から九州電力への全面移管をお願いすることとし、令和２年度（２０２０年）に無事終了することが出来ました。

そして、今回、建築以来、６０年経過した事務所から新しい事務所への建築に取り組みことといたしました。

新事務所につきましては、先人の方々から受け継ぎました団地内の一角を利用させていただきました。また、建築にあたっては、団地内の各企業の皆様にご協力いただくこととし、本日完成を迎えることが出来ました。

新しい事務所は、組合の名にふさわしく、できる限り木造化・木質化に努めたつもりであります。

この間、関係各位の並々ならぬご協力に、改めて厚く御礼申し上げます。

今後は、この事務所を基点として、新たな気持ちで鹿児島木材産業協同組合の充実・発展に努め、東開町の発展にも寄与したいと考えています。

今後とも、皆様方のご協力、ご支援を心からお願い申し上げます。

令和8年7月9日

鹿児島木材産業協同組合

代表理事 柴立 鉄彦

